

集落ぐるみで鳥獣を 「寄せ付けない」取組を実践しましょう！

知らず知らずに『餌付け』していませんか？

被害防止には、秋から冬の「えさ場」や「隠れ場所」を
なくすることがポイント!!

ポイント 1 農地や集落内の「鳥獣のえさ場」をなくしましょう！！

野山に餌が少なくなる冬期前は鳥獣を寄せ付けなくするチャンスです！！

ア 稲刈り後の株から伸びる稲穂（ひこばえ）も鳥獣のえさになります。耕うんしてすき込みましょう。また、いもや野菜、果樹などの収穫残さは畑に残さないように気を付けましょう。

イ 果樹は果実を全て収穫できるように樹高を低くしましょう。

ウ 放任果樹は撤去（伐採）しましょう。



収穫残さを畑の近くに捨てない



ひこばえは早めにすき込む



収穫残さに寄って来たイノシシ

ポイント 2 農地周辺や集落内の「鳥獣の隠れ場所」をなくしましょう！！

鳥獣は臆病です。隠れ場所をなくして安心して近づけない環境を作りましょう！！

ア 集落内の荒廃農地や農地周辺の茂みやヤブ等をなくしましょう。

イ 緩衝帯の設置、枝打ち等を行い、集落内や農地周辺の見通しを良くしましょう。



緩衝帯の設置

ポイント 3 侵入防止柵（電気柵、ワイヤーメッシュ柵など）の点検をしましょう！！

ア 侵入防止柵の隙間から鳥獣の侵入が確認されたことのある箇所を重点的に見回しましょう。

イ 見回りの結果、破損等を確認した場合には、速やかに修繕しましょう。

ウ 柵周辺の草払いを実施しましょう。